



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月26日

上場会社名 伊勢化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4107 URL <https://www.isechem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員 (氏名) 平岡 正司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員管理本部長 (氏名) 菅 秀章

TEL 03-3242-0520

四半期報告書提出予定日 2023年11月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	18,990	△1.1	3,622	29.4	3,521	27.7	2,573	33.2
2022年12月期第3四半期	19,197	29.7	2,798	43.2	2,758	42.3	1,931	50.2

(注)包括利益 2023年12月期第3四半期 2,822百万円 (21.1%) 2022年12月期第3四半期 2,329百万円 (64.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	504.78	—
2022年12月期第3四半期	378.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	38,038	30,916	81.3
2022年12月期	36,146	29,220	80.8

(参考)自己資本 2023年12月期第3四半期 30,916百万円 2022年12月期 29,220百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	75.00	—	110.00	185.00
2023年12月期	—	110.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	110.00	220.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	13.4	4,500	19.8	4,350	18.9	3,000	17.1	588.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、四半期決算短信(添付資料)7ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	5,135,135 株	2022年12月期	5,135,135 株
2023年12月期3Q	38,023 株	2022年12月期	37,381 株
2023年12月期3Q	5,097,481 株	2022年12月期3Q	5,098,089 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、2023年2月3日に公表いたしました、「2022年12月期 決算短信」に記載の2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は今後の様々な要因により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年9月30日)における当社グループをとり巻く環境は、国内では景気の緩やかな回復基調が継続しているものの、中国では経済活動の再開による景気回復にも鈍化傾向が見られ、また世界的な物価の高止まりや各国における金融引き締め継続による内需の下振れ、ウクライナ情勢の長期化、足元での原油価格の上昇など、世界経済の成長下振れリスクは依然として高く、先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な国内外の販売活動を実施するとともに、安全安定生産強化と生産性向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2億7百万円(1.1%)減の189億9千万円、損益面では、営業利益は同8億2千3百万円(29.4%)増の36億2千2百万円となりました。また、経常利益は同7億6千3百万円(27.7%)増の35億2千1百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同6億4千1百万円(33.2%)増の25億7千3百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### [ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、販売先における製品在庫調整等の影響を受け、ヨウ素製品の販売数量は前年同期を下回りましたが、ヨウ素の国際市況が引き続き堅調に推移したこと、加えて為替相場が円安になったことにより販売価格が上昇し、売上高は前年同期を上回りました。営業利益につきましては、原燃材料価格の上昇等の減益要因がありましたが、上記売上高の増加要因等により、前年同期を上回りました。

この結果、売上高は前年同期比25億1千4百万円(18.0%)増の164億6千2百万円、営業利益は同15億3千9百万円(67.0%)増の38億3千7百万円となりました。

#### [金属化合物事業]

金属化合物事業では、主要製品である塩化ニッケルについて、販売価格は前年同期を上回ったものの、販売先における製品在庫調整の影響を受けて販売数量が大幅に減少したことにより、売上高は前年同期を大きく下回りました。損益面につきましては、販売数量の大幅な減少、原燃材料価格の上昇、操業度の低下等により、営業損失の計上となりました。

この結果、売上高は前年同期比27億2千1百万円(51.8%)減の25億2千7百万円、営業損失は2億1千4百万円(前年同期は営業利益5億1百万円)となりました。なお、この営業損失には、当第3四半期連結会計期間において計上した、塩化ニッケルに係る棚卸資産の評価損2億8百万円(売上原価)が含まれております。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月3日付「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました2023年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合には、適時に公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,387	4,261
売掛金	6,150	6,712
有価証券	4,000	4,000
商品及び製品	3,072	4,023
仕掛品	615	651
原材料及び貯蔵品	2,050	2,224
その他	138	213
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	20,413	22,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,774	4,471
機械装置及び運搬具（純額）	6,469	6,219
土地	1,850	1,863
建設仮勘定	1,146	1,844
その他（純額）	246	250
有形固定資産合計	14,485	14,649
無形固定資産		
その他	575	631
無形固定資産合計	575	631
投資その他の資産		
繰延税金資産	540	540
その他	131	131
投資その他の資産合計	672	671
固定資産合計	15,733	15,952
資産合計	36,146	38,038

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,373	2,418
短期借入金	600	600
未払金	1,015	1,047
未払法人税等	802	558
賞与引当金	164	330
役員賞与引当金	12	14
環境対策引当金	—	175
その他	247	611
流動負債合計	5,215	5,755
固定負債		
退職給付に係る負債	1,042	1,034
環境対策引当金	375	—
資産除去債務	269	287
その他	23	43
固定負債合計	1,710	1,365
負債合計	6,926	7,121
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	21,593	23,044
自己株式	△125	△129
株主資本合計	28,999	30,446
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	172	421
退職給付に係る調整累計額	48	48
その他の包括利益累計額合計	220	469
純資産合計	29,220	30,916
負債純資産合計	36,146	38,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	19,197	18,990
売上原価	14,975	13,814
売上総利益	4,222	5,175
販売費及び一般管理費	1,423	1,553
営業利益	2,798	3,622
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	0	—
その他	0	1
営業外収益合計	4	4
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	43	104
営業外費用合計	44	105
経常利益	2,758	3,521
特別利益		
固定資産売却益	3	4
環境対策引当金戻入額	—	200
特別利益合計	3	204
特別損失		
固定資産除却損	45	84
その他	1	1
特別損失合計	47	85
税金等調整前四半期純利益	2,714	3,640
法人税等	782	1,067
四半期純利益	1,931	2,573
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,931	2,573

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,931	2,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
為替換算調整勘定	396	249
退職給付に係る調整額	1	△0
その他の包括利益合計	397	249
四半期包括利益	2,329	2,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,329	2,822
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27項-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(環境対策引当金)

当社は、従来よりPCB使用機器関連の処理支出に備えるため環境対策引当金を計上していましたが、処理等の進捗に伴い、より精緻な見積りが可能となったことから見積りの変更を行い、従来の見積り額との差額を環境対策引当金戻入額として特別利益に計上しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は200百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
日本	7,237	4,970	12,207	—	12,207
アジア	2,678	279	2,957	—	2,957
北米	1,881	—	1,881	—	1,881
欧州	2,151	—	2,151	—	2,151
顧客との契約から生じる収益	13,948	5,249	19,197	—	19,197
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,948	5,249	19,197	—	19,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	13,948	5,249	19,197	(—)	19,197
セグメント利益	2,297	501	2,798	—	2,798

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
日本	7,439	2,482	9,922	—	9,922
アジア	4,438	45	4,484	—	4,484
北米	1,992	—	1,992	—	1,992
欧州	2,591	—	2,591	—	2,591
顧客との契約から生じる収益	16,462	2,527	18,990	—	18,990
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,462	2,527	18,990	—	18,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	16,462	2,527	18,990	(—)	18,990
セグメント利益又は損失(△)	3,837	△214	3,622	—	3,622

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等)に記載のとおりであります。